

# 選挙事務の改善を図り、法令順守の取り組みを強化

昨年12月に行われた衆議院議員総選挙および最高裁判所裁判官国民審査における不適正な事務処理を受け、再発防止に向けて、選挙事務の改善を図りました。8月2日に行われる仙台市議会議員一般選挙より、この改善策を確実に実行し、市民の皆さまの大切な一票を、開票結果に正確に反映します。

また、今回の一連の経過を踏まえ、コンプライアンス（法令順守）に対する職員の意識や組織風土の改善に向けた取り組みを強化しています。

## 正確性を第一に、選挙事務を改善します

### ■選挙事務マニュアルの見直し

選挙においては、投票用紙の集計をはじめとする事務の正確性が何よりも重要です。従事者が正しい手順を把握できるようにするため、事務マニュアルを簡潔で分かりやすい内容に見直しました。

### ■作業手順の変更

白票による恣意的な操作ができないよう、集計手順の見直しや二重チェックの徹底などの改善を図

りました。また、トラブルが発生しても混乱なく組織的に対処するための手順を整理しました。

### ■職員体制の強化

有権者が5千人以上の投票所85カ所について、選挙事務にあたる職員を増員し体制を拡充します。また、担当分野ごとに実務研修を行うなど事前研修を充実させ、投票・開票事務に万全を期します。



▲従事者を対象に、開票事務シミュレーション研修を実施。白票の処理の流れや集計のチェック方法を確認しました

214 問  
210 2  
203 3 問  
仙台市選挙管理委員会事務局 ☎

## 市政への信頼回復に努めてまいります

仙台市長 奥山 恵美子

昨年の衆議院議員総選挙および最高裁判所裁判官国民審査における青葉区選挙管理委員会の一連の不適正な対応により、選挙制度のみならず、市政全体への信頼を著しく損ねる結果となりました。改めて、市民の皆さまに心よりお詫びを申し上げます。

今回の事態は、職員の法令順守の意識の甘さなど、市役所の組織全体にわたる課題に起因するものと認識しています。市政のトップとして私が先頭に立ち、二度とこうした事件を起こさない体制づくりを進め、一日も早く市民の皆さまからの信頼を取り戻さなければならないと考えております。

選挙管理委員会では、再発防止に向けて選挙事務のさまざまな改善を行うこととしました。また、今般、職員が公務員としてとるべき行動の原則を示した行動規範集も策定したところです。

今後、この規範集を活用しながら、全職員のコンプライアンス意識の向上と組織風土の改善を図り、市民の皆さまのご期待に応え、信頼される市役所づくりに全力で取り組んでまいります。

## コンプライアンスの推進を図ります

本年度より総務局人材育成部にコンプライアンス推進担当を配置し、職員の意識改革や風通しの良い職場風土の醸成に向けた取り組みを進めています。また、外部有識者を含めた「仙台市コンプライアンス推進委員会」を計5回開催し、7月に職員がとるべき行動の基準を示した「仙台市コンプライアンス行動規範集」を策定しました。

この規範集においては、「その判断が最善であると市民に説明ができること」を行動の根本原則とし、職員一人一人が次の四つの行動を実践することが盛り込まれています。

- 市民の視線を大切に仕事をする
- 法令等を順守し、公務内外にわたり高い倫理観を持って行動する
- 正確性を期し、積極果敢に仕事をする
- チーム力を高め、よりよい仕事をする

今後はこの規範集を用いて組織の隅々まで意識を浸透させていくとともに、さらなる意識向上や組織風土の改善を図ってまいります。

問  
人材育成部コンプライアンス推進担当 ☎  
214・8652